



発行・カトリック水巻教会
 編集・広報委員会
 遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
 〒807-0021
 TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
 第272号

四旬節＝「復活祭に向けて心の準備を」

ヨゼフ・竹森 勇

2月17日(水)より、典礼暦は、四旬節に入ります。

四旬節初日の灰の水曜日に、灰を受ける式によって、私たちは、洗礼の恵みを受けて神の子供に生れ変わった、あの、信仰生活の原点に立ち帰るために、灰のように自分を“無”の状態にして、心を空っぽにし、この一年間の、キリスト者としての生きかたを謙虚に反省して、自己をみつめなおします。

去年の復活祭から、この一年間、私たちは、キリスト者として、また、神の子として、ふさわしい生きかたが出来たかどうか、よく吟味しながら、主の復活徹夜祭、つまり、私たちが、神の子供に新たに変わった、あの状態、つまり、『神の家への霊的里帰り』をするための準備期間が、四旬節です。

四旬節のテーマは、“回心”です。

日頃、忙しさと自己中心的生活、なおかつ、目先の自己欲とにとらわれて、神を見失いがちな日常生活をよく見つめ直し、父である神の方に向き直って、「神のもとへの信仰生活の軌道修正」に心がけるように努力しましょう。そして、私たちの罪を悔い改めながら、父である神のもとへ立ち返るように、特に、日頃できない、愛の実践や小さな犠牲を積み重ねながら、自分自身の罪のつぐないとするようにこころがけましょう。

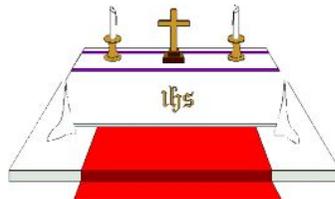
さらに、四旬節だからこそ・・・という気持ちで、特に、日常の祈りの生活を大切にするようにいたしましょう。

40日間という四旬節は、聖パウロが教えているように、『恵みの時・救いの時』です。

この期間、時間、ひとときを大切にしながら、主の復活の記念日を恵みと救いのうちに迎

えることが出来るように、「40日間・真正面から主の十字架を思い、主の十字架を見つめ、主の十字架に向かう」

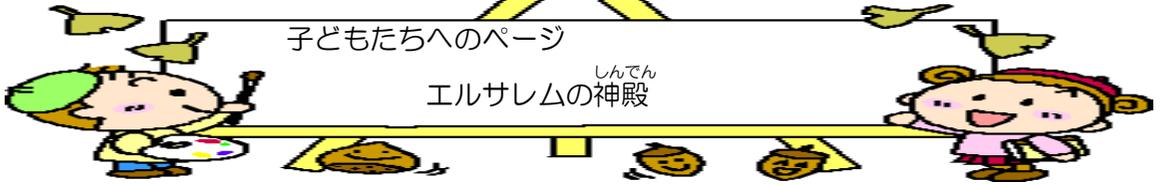
意気込みで、四旬節を向かえ、過ごすようにこころがけながら、復活祭に備えましょう。



子どもたちのページ	2面
皆さんの信仰の原点は?	3面
典礼委員会議事録	4面
公文書シリーズ	5面
聖書への案内・黙想会のお知らせ	6面
教会学校のページ	7面
おしらせ	8面

子どもたちへのページ

エルサレムの神殿



紀元前10世紀、今から2900年前にエルサレムの神殿はソロモン王によって作られました。この神殿を作るために北のレバノンからたくさんのレバノン杉が運ばれてきました。

このころのレバノン国はこの木がたくさんありました。山の上から切り出して海に浮かべてイスラエルの海岸まで運びましたが、エルサレムの町は高さが850mの山の上にあります。たくさんの重い木をどうやって山の上まで運んだのでしょうか。

この神殿は、紀元前587年にバビロニア国の軍隊によって壊されました。

ソロモン王が建てた神殿は旧約聖書列王記に詳しく書いてありますが、実際は壊れてしまったので、どんなものだったのかわかりません。しかし、ヨーロッパの聖書学者の人たちが調べたものでは、外側はエルサレムの近くでたくさん取れる大理石で、中はレバノン杉が全体に張ってあったそうです。

最初の神殿は壊されてしまったのですが、バビロニアに連れて行かれた人たちが解放されて国に帰ったとき、二回目の

神殿建設が始まりました。この神殿は紀元前516年に完成しました。この神殿のことを「第二神殿」と呼びます。最初の神殿より材料も悪かったのでみんなは悲しみましたが、前より大きいものでした。

その後、イエス様が生まれる前のユダヤの王「ヘロデ大王」によって神殿は立派なものになりました。イエス様が生まれたとき神殿は改築中でした。完成したのは西暦64年でした。

しかし、その後ローマ帝国の軍隊による攻撃により、ユダヤの民は国を追われる事になりました。

現在は神殿があった場所にイスラム教の大きな金色のモスク(イスラム教の礼拝堂)が建っています。この場所でイスラム教の最初の指導者マホメットが死んだと伝えられ、イスラム教の聖地になっているのです。

ユダヤ教の人たちは神殿があった所には入れませんが、最初に作られた神殿の下の石が出ていところがあります。この場所は「嘆きの壁」と言われ、ユダヤ教の人はこの壁に向かって祈り、壁の石のすきまに願いを書いた紙を差し込みます。

皆さんの信仰の原点は？

ある日、広島教区の司祭を訪ねたとき、聖書の勉強会があったので、特別に参加させてもらいました。とても長い間続けている会だそうで、遠くからも参加しておられました。

聖書の勉強をすることはキリスト教徒としては当たり前のことです。キリスト教の正典は聖書です。

聖書の指導を受けた司祭から聞いた話ですが、この司祭は神学校にいるときに父親からもらった旧約聖書を大切にしていたそうです。ところが神学校の先生がそれを見つけてとても怒ったそうです。そのころの教会では旧約聖書を個人が読んではいけなかったのだそうです。現在の教会ではそのようなことはありませんが、聖書は神父様と一緒に読むものだという教育がありました。しかし、私はこの神父から旧約聖書の読み方を学びました。

キリスト教の正典として定められている聖書さえも自由に読めなくて、信仰が育つのでしょうか。今はどこの教会でも聖書を勉強するたくさんのグループがあります。

信仰の道に入る切掛けは、それぞれ違います。親から子へ伝わってきた家族もいれば、悩みぬいた結果、信仰の道を求めた人もいます。

東京の友人が洗礼を受けるにことになった面白くて変な話を紹介します。

この人は昔からキリスト教には興味がなかったそうです。高校まで福岡のミッションスクールでした。学校での聖書の時間は居眠りばかりしていたそうです。

結婚後、東京の奥様たちの付き合いでイエズス会のイグナチオ教会の聖書勉強会に行ったそうです。ところが、勉強会でこの人の悪い癖が出ました。

この人は質問魔なのです。付き合いで興味のない勉強会に参加しておきながら、神父を質問に攻めました。ところが聖書の指導をした神父は、この人は信仰にとっても興味があると勘違いしました。そして、ちょっと来てくださいと呼びました。そこで質問に答えながら特別に教育されて、とうとう洗礼を受けてしまいました。

友人は「私はキリスト教に全然興味がなかったんやけど、一緒に勉強会に行ったメンバーで私だけが洗礼を受けたんよ」と博多弁で言っていました。

私が知り合ったのは、ある旅の途中です。そのときもガイドに質問ばかりしていたので、「変な質問ばかりするな」と言ったのが知り合った切掛けでした。

信仰の道に入る過程は様々ですが、私の信仰の原点は聖書が、聖書を学ぶことには神様の導きがあるのだと感じた話でした。

今月は四旬節に入ります。自分の信仰の原点はどこにあるのかを一度考えてはどうでしょうか。



2009年度 第8回 典礼委員会議事録

開催日時：2010年1月13日(水) 19:30 場所：信徒会館

参加者：竹森神父、俵、松尾定五、安永仙之助、山本栄、矢田(順不同敬称略)

確認事項

- 1 北九州地区信徒協 聖書講座
1月24日(日) 14:00 講師：ベリオン神父 小倉教会
- 2 北九州地区信徒協 典礼研修会(全信徒対象)
1月31日(日) 14:00 講師：嘉松宏樹神父(大神学院) 小倉教会
演題：「ことばとしるし」
- 3 典礼聖歌研修会(2月21日の予定) 中止
- 4 年の黙想会(水巻教会)と共同回心式
3月6、7日(第1土、日曜日) 指導司祭：前田神父(長崎教区)
- 5 通夜・葬儀のしおり(99部) 50部増刷(訂正個所の修正)
B4 白用紙×7×50 B4 水色用紙×1×50 馬込末吉氏に発注

審議事項

- 1 クリスマスの反省(前夜祭参加者は約250名、こども45、6名含む)
ミニコンサート：15分程度でよい、
クリスマスミサのパンフレットを作り直す場合は早めに取りかかること、
- 2 司会者当番表(12月～3月)配布と新しい典礼委員(ミサ司会)の募集
アブドゥハン美智子さん、浜口さん(折尾地区)などに声をかける
- 3 森神学生の歓送会日程について 1月31日(日)
- 4 典礼委員会主催 仮称「集い」について
要項、呼びかけチラシを次回までに作成
対象者：疎遠になっている信者、信者が誘いたい未信者 など
- 5 「水巻教会の通夜・葬儀について」を作成、小教区委員会に提案する。
- 6 典礼委員会開催日の変更は年度末までに調査し、新年度より実施する
- 7 その他
水巻教会：灰の水曜日(2月17日) 灰の式とミサの時間 10:00
香炉スタンドセットの祭具(シバ-)を発注
灰の水曜日のための枝回収は 1/31～2/14(3週)

公文書シリーズ 第5回 典礼憲章

これから数回、典礼憲章を紹介してゆきます。典礼憲章は、我々、信者がミサを通して感じ得る、最も身近な話題について書かれています。そのために、典礼憲章の各章は次のようですが、非常に多岐に亘っていると感じられます。

第1章、典礼刷新と促進のための一般原則、第2章、聖体の聖なる秘儀、第3章、その他の秘跡、および準秘跡、第4章、聖務日課、第5章、典礼暦年、第6章、教会音楽、第7章、教会芸術と教会用具。

今回は、総論的な第1章、および聖体というタイトルがついているがミサを全般に語っている第2章のみを紹介します。以下では大切な場所のみを挙げてゆきましょう。

*第1章第7節は（典礼におけるキリストの現存）

ミサを執り行うこと自体において、またミサにおいて我々が示す犠牲のうちに、キリストは現存すること、十字架上で自らを捧げたキリストが、司祭のうちに、また聖体のうちに現存すると書かれています。

*第1章第8節（天上の典礼につながる地上の典礼）

地上の典礼において、われわれは天上の典礼を「あらかじめ」味わいます。天上の典礼は、旅人であるわれわれが目指す聖なる都、(天の)エルサレムにおいて行われ、そこではキリストが神の右の座に座っています。

最初に書いたとおり、典礼憲章はその1つの章の中ですら、多岐の内容に渡るので、ここではいくらかの節は省略しつつ、重要な点を次々と列記してゆきます。

「典礼について教育する必要がある」こと、「典礼に行動的に参加する」ことこれはミサ中のことを指し、会衆としての応答、答唱、詩編唱和、動作、沈黙についてです。

「儀式と言葉が密接にむすびついており、聖書朗読が大切である」こと。その選択も、その朗読方法も、「説教の内容」についても書かれています。

典礼委員会の設置についても、このバチカン発の公文書において、次の委員会が設置されるべきとあります。委員会は、典礼委員会、司教区典礼委員会、教会音楽と教会芸術委員会です。ここで「芸術」とは音楽を含めず、美術・ミサの聖具に対する工芸のことです。

*第2章においては、ミサの式次第が適切に改訂されるべきこと、聖体の秘儀について、信者が単にミサに出席するだけでなく、儀式と祈りを通してよく理解すべきことが書かれています。また、「聖書の宝庫が今まで以上に開かれなければならない」ことも書かれています。おそらく、この憲章のこの条文によって、今日に見られる3年周期での聖書朗読の規則が定着したのでしょうか、それ以上の工夫も必要でしょう。

聖書への案内 No.7 士師記

旧約聖書の第七巻です。この巻は、ヨシュアの死から王国成立以前までのイスラエルの軍事的、政治的指導者であった十二名の英雄を「士師」と呼んだことから来ています。

ヨシュアの死後、イスラエルの民は主に聞きます。「わたしたちのうち誰が最初に上って行って、カナン人を攻撃すべきでしょうか」主は「ユダが上れ。見よ、わたしはその地をユダの手に渡す」

こうして12部族はそれぞれの分配された地域に移動して行きました。

しかし、ヨシュアと一緒にカナンに入った長老が死んでいくと、主に背く世代が現れ始めます。その上、外部からの敵が侵入してきました。

その敵に対して「士師」という一時的な

指導者が決起し、部族を統合し指揮をして対抗しました。しかし、士師の体制は一過性の侵入には耐えられますが、腰をすえた侵略には対抗できませんでした。そのことがイスラエルの民が王制を求める理由になりました。

士師の時代には、民を軍事的・政治的に指導する士師が現れて大活躍する話がたくさんあります。

有名な人物では映画にもなった「サムソン」がいます。彼は怪力の持ち主でした。ライオンと戦っても勝つほどでしたが、生涯髪を切りませんでした。この髪にサムソンの秘密があったのです。

この続きは聖書を読んでください。

年の黙想会のお知らせ

日時 3月6日(土) 14:00~16:00 19:00~21:00
3月7日(日) 10:00~12:00

指導神父 前田 万葉神父(長崎教区)

※プログラム

3月6日(土)		3月7日(日)	
《昼の部》	《夜の部》	10:00~	主日のミサ
2:00~	7:00~	11:00~	休憩
2:20~	7:20~	11:15~	共同回心式
3:00~	8:00~	12:00	黙想会終了
3:15~	8:15~		
4:00	9:00		



教会学校のページ

1月10日 三学期始業式

1～2年生

テキスト31～33

だれにでも「やさしい心・しんせつな心・ゆるす心」で
一日をすごしましょう。

3～6年生

灰の水曜日 四旬節第1主日 復活祭の日取りを確認。

冬休みにしたこと、楽しかったことを発表。

今日の福音(ルカ3章 15～16、21～22)を勉強。



1月24日 日曜日

1～2年生

テキスト 34 ご聖体のいただき方

ご聖体のいただき方を勉強した後、神父様から頂いた
みかんでご聖体のいただき方を練習しました。

3年生

神学生のお話を聞きました。

4～6年生

神学生への寄せ書きをしました。



今後の予定

- ・2月は、予定通り第2・第4のミサ後に行います。
- ・4月4日 初聖体式(黒崎教会との関係もありますので、変更になる場合があります。)

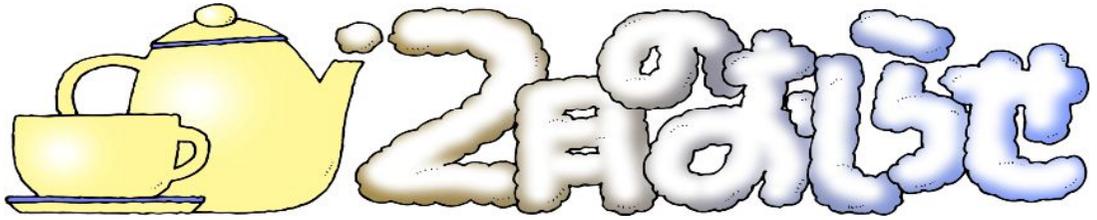
※ 中・高生(堅信)クラスを受け持って教えて頂いた森神学生、ありがとうございました。

堅信クラスの勉強会がない日には、小学生と一緒に勉強をしたり、遊んだりしていただき、子ども達も喜んでいました。

『神父様』目指してがんばってください。

みんなで応援しています。





★街頭募金の送り先★

12月に行った街頭募金の送り先が決定したので、報告します。

カリタスジャパン	79,079円
美野島司牧センター	20,000円
水巻町社会福祉協議会	10,000円
合計	79,079円

★特別寄付★

クリスマス特別献金	31,380円
クリスマス特別献金(子ども献金)	3,743円
ご協力、ありがとうございました。	

★灰の水曜日★

2月17日(水)

ミサ 午前10:00~

水巻教会でのミサは、朝の1回だけです。
なお、この日は大斎・小斎です。

※黒崎教会でのミサ

午前 8:15~

午後 19:00~

★お詫びと訂正★

先月号のからしだねで、新成人の紹介をしましたが、今年ではない人を間違っで紹介していましたので、訂正します。

吉田地区 前平 雅也さん

★黙想会のお知らせ★

2月17日から四旬節が始まります。
今年も、この間に黙想会と回心式を行います。

日時	3月6日(土)
	14時~16時
	19時~21時
	3月7日(日)
	10時~12時

この日は共同回心式も一緒に行います。

指導神父 前田万葉神父(長崎教区)

詳しいことは6面に載せていますので、ご覧ください。

★レプトン会よりお知らせ★

先月号でもお知らせしましたが、レプトン会主催で、一日黙想会を開催します。
指導はイエズス会の「李相源神父」です。

日時	2月13日(土)
	10:00~15:00

場所 水巻教会

参加費 500円(昼食代)

参加を希望される方は、聖堂後ろに用紙を貼り出していますので、名前を記入してください。多数の皆様のご参加をお待ちしています。